



## 校歌

### 『きみだけの道』

作詩 田淵久美子  
作曲 加羽沢美濃

道の向こうに何がある まだわからない まだ知らない でも確かなもの それは胸のうちにある この世に生まれてきた意味を知ろう この世にひとつだけ きみだけの夢あることを	空高く 海は静か 山蒼く 川は流れ 森繁く 雲はゆく 天翔る鳥のように 自由を描こうおおらかに
時に迷いに苦しみ でもそこに答えはある きっと 自分を信じよう 声を聞こう 心の この世に生まれてきた意味を知ろう この世にひとつだけ きみの幸せあることを	道の向こうに待っている きみの未来が輝いて さあ歩きだそう 高らかに理想を持ち この世に生まれてきた意味を知ろう この世にひとつだけ きみの明日があることを
	この世に生まれてきた意味を知ろう この世にひとつだけ きみだけの夢あることを きみの幸せあることを きみの明日があることを



# 島根県立益田翔陽高等学校

〒 698-0041

TEL (0856) 22-0642

島根県益田市高津 3-21-1

FAX (0856) 22-0684

ホームページアドレス：<http://www.shimamet.ed.jp/shoyo/>

## PTAの歩み

益田工業高校と益田産業高校の統合は、平成11年に公表された「県立学校再編基本計画」に基づき進められた。平成17年度からの工業化学科（益田工業高）の募集停止が決まり、翌年、両高等学校の募集が停止され、これまでの益田工業高校「電子機械科・電気科」、益田産業高校「生物生産工学科・環境土木科・総合学科」の5科を継承し、平成18年4月に複合型専門高校、益田翔陽高校として新たなスタートを切った。

P T Aは、平成18年4月11日入学式後、P T A設立総会が開かれ、初代会長に中村修二氏、副会長に2名が選出され歩みをはじめた。翌19年には、新たに2名の副会長を加え、会長・副会長5名の体制とした。平成20年3月末までは益田産業高校のP T Aとともに活動していくこととなっている。

## 学校の特徴 (益田産業高校・ 益田翔陽高校)

産業高校は大正10年開校の益田農林学校が母体。したがって、農業系を主とし、総合学科の食品加工、食物などの系列はその流れを汲んでいる。広大な敷地で、生徒たちの個性を生かし、緑の中、生産の喜びをとおして、命の大切さを学ぶ。

翔陽高校は産業高校と昭和38年開校の益田工業高校が母体。産業高校の特色と併せ、工業立国を支えた「ものづくり」を念頭に、ものづくりをとおした人づくりから、将来のスペシャリストを目標に学ぶ。学科の枠を超え、他学科の内容を学習し、互いの分野の意義を理解する教育を進め、自己実現のための支援を行っている。また、両校とも生徒会活動、農業クラブ等諸活動及び部活動における生徒の自主的活動と、教師群がリードする学習活動を両輪に、それぞれを相乗的に伸ばし、栄える学校をめざしている。